

【技術の名称】 シミズ無アンカーブレース工法 ー無アンカー接合による 鉄骨ブレース耐震補強工法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 07-05 号 性能証明発効日：2007 年 5 月 8 日 【取得者】 清水建設株式会社
--	--

【技術の概要】

本技術は、既存の鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造骨組内において、あと施工アンカーをなくし無収縮モルタルを充填した接合部を介し、既存骨組と枠付き鉄骨ブレースを一体化する耐震補強工法である。本工法では、既存梁の上下面と接する枠鉄骨の横材フランジ表面に丸鋼シアキーを溶接接合することによって、枠鉄骨の横材と無収縮モルタルとの間の付着耐力を確保している。ただし、既存柱の側面と接する枠鉄骨の縦材フランジ表面には丸鋼シアキーを設けないこととしている。既存躯体のコンクリート打継面処理には目荒らしとサンダーがけの2通りの方法があり、それぞれに評価式を規定している。また、鉄骨ブレースとしては、通常のH形鋼ブレースのほかに、引張耐力と圧縮耐力が等しいエネルギー吸収性能に優れた座屈補剛ブレースも使用できるとしている。

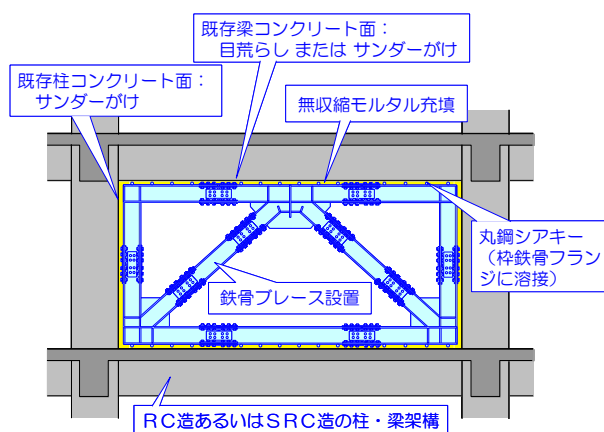
【技術開発の趣旨】

従来の耐震補強工事では、多数のあと施工アンカーの施工に伴う騒音、振動、塵埃などや施工期間の制約など種々の課題が発生する。本工法は、これらの課題の解消または軽減を意図して開発されたものである。

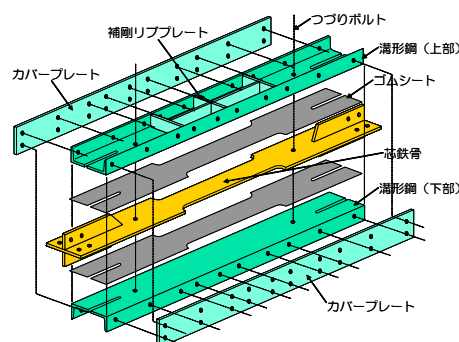
【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

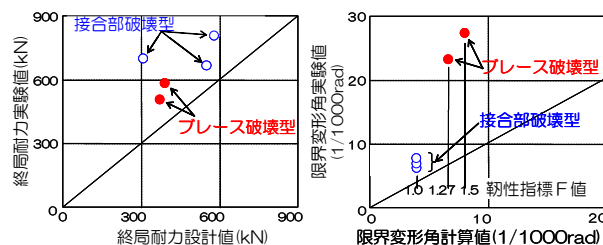
本工法によって構築される枠付き鉄骨ブレースと既存骨組からなる補強ブレース架構は、申込者提出の設計・施工指針で提示している終局耐力および変形性能(耐震診断に用いるF値)を有すると判断される。



工法の概要



座屈補剛ブレースの例 (CSブレース)



終局耐力および変形性能の評価

(1層1スパン補強架構試験体の水平加力実験)

【本技術の問合せ先】

清水建設株式会社 担当者：本多義人 E-mail：y.honda@shimz.co.jp

〒105-8007 東京都港区芝浦 1-2-3 シーバンス S 館 TEL：03-5441-0563 FAX：03-5441-0469